

●国際ワークショップ●

# 比較からみた〈プラットフォーム エコノミーと労働法〉

—日本とイギリス—

## 〈プラットフォームエコノミー と労働法〉の比較研究に向けて



石田 眞 (早稲田大学名誉教授)

■質疑・討論については英語の逐次通訳が付きます。また、日本語版と英語版の発表原稿が資料として配布されます。



アン・デービス (オックスフォード大学教授)

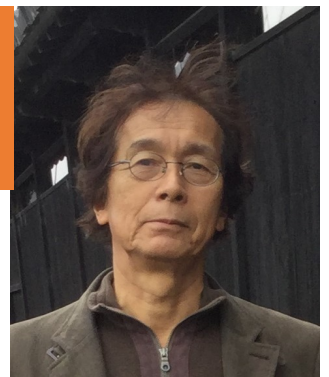
## イギリスにおける〈プラット フォームエコノミーと労働法〉

## 日本における〈プラットフォーム エコノミーと労働法〉



浜村 彰 (法政大学教授)

- 日時 2019年3月25日(月) 14時~17時 (13時30分開場)
- 場所 法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート棟4階401 (G401)
- 主催 法政大学ポアソナード記念現代法研究所
- 参加費 無料
- 定員 150名



毛塚勝利 (労働法学研究者)

クラウドソーシングで働くクラウドワーカーやワーパライツの配達人など、情報通信技術 (ICT) の発達によって新しい働き方が次々と生み出されていますが、それらに共通しているのは、プラットフォームを介した働き方であるということです。それ故、それらを総称して「プラットフォームエコノミー」と呼ぶことがあります。

私たちは、こうしたプラットフォームエコノミーのもとでの働き方について、科学研究費の助成 (研究代表者: 浜村彰法政大学教授) を得て、その実態の解明とそこで働く人たちの保護に向けた労働法上の課題の検討をおこなっています。

今回の国際ワークショップでは、そうした研究の一環として、オックスフォード大学のアン・デービス教授 (Professor Anne Davies) をお招きして、プラットフォームエコノミーの労働法上の問題を、比較の視点から検討したいと考えています。



■問い合わせ・連絡先 法政大学 沼田雅之 masayuki.numata.tm@hosei.ac.jp